

議会だより

にしあいづ

No.133

2016.4.25

発行：福島県西会津町議会

編集：議会広報特別委員会



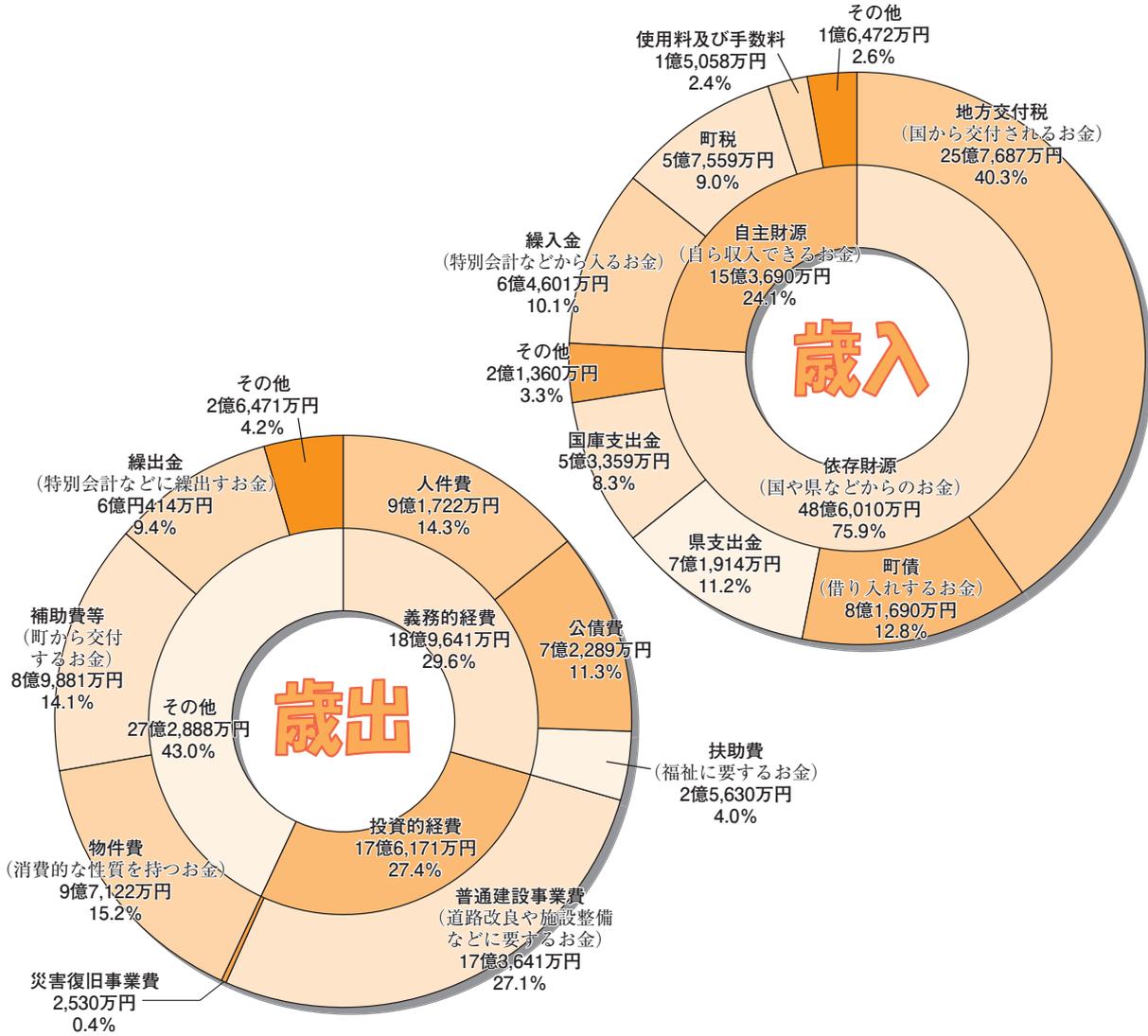
- 3月議会定例会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～6
 - 過去最大の大型予算で いざ地方創生！・・・・・・・・ 2～4
 - 町3役の給料 議会議員の報酬をアップ・・・・・・・・ 5
 - 子どもは町の宝 より一層子育てを応援・・・・・・・・ 6
- ここが聞きたい！一般質問12人が登壇・・・・・・・・ 7～18
- 町民のみなさん お話ししましょう・・・・・・・・ 19
- 上野尻男銭太鼓リーダーの斎藤修さんにインタビュー・・・・・・・・ 20

お返事できるかな？（野沢保育所入所式）

でいざ地方創生!

平成28年度一般会計予算 63億9,700万円

3 月
議会
定例会
3/4~17



町から提出された議案は、平成28年度当初予算案をはじめ、町長等の給与や議会議員の報酬額を改定する条例改正案など、36件で、平成28年度一般会計当初予算及び議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部改正条例は採決により、その他の議案は全員賛成で原案のとおり可決しました。

一般質問では、議員12人が登壇し、町の考えや対応を問いただきました。

会 計 名		平成28年度予算額	平成27年度予算額	増 減 率	
一 般 会 計		63億9,700万円	63億4,600万円	0.8%	
特 別 会 計	工業団地造成事業	8,868万円	8,868万円	0.0%	
	住宅団地造成事業	623万円	616万円	1.1%	
	下水道施設事業	1億7,565万円	1億8,601万円	△5.6%	
	農業集落排水処理事業	1億1,256万円	1億1,579万円	△2.8%	
	個別排水処理事業	5,498万円	6,417万円	△14.3%	
	後期高齢者医療	9,702万円	1億148万円	△4.4%	
	国民健康保険	保険関係	10億156万円	10億2,509万円	△2.3%
		診療所関係	2億8,178万円	2億8,247万円	△0.2%
	介護保険	11億200万円	11億3,085万円	△2.6%	
	簡易水道等事業	6,835万円	7,893万円	△13.4%	
水道事業会計	収益的収支	1億5,246万円	1億5,779万円	△3.4%	
	資本的収支	9,691万円	8,919万円	8.7%	
合 計		96億3,518万円	96億8,609万円	△0.5%	

過去最大の大型予算

イチオシ 議会が注目! 新年度事業

ピックアップ

定住・移住総合支援センター運営事業 670万3千円

西会津国際芸術村に設置した定住・移住総合支援センターで、来場者へ町の魅力を伝えるほか、担当スタッフが相談者の現状や希望を聞き取りながら、仕事や住まい等の関係者間のマッチングを行うなど、きめ細やかな支援を行います。

さらに町出身者や町を応援したいと思う方々を対象として設立する、西会津ふるさと町民倶楽部（仮称）の管理運営を行い、会員を顧客とした米などの物産品の直販を確立するほか、会員への優遇制度を提供しながら町の魅力を発信するとともに、イベントに誘客し、西会津ファンから移住定住者となるよう、交流人口の拡大の取り組みを推進します。

ピックアップ

横町館跡発掘調査事業 3千万円

役場庁舎移転を計画している西会津小学校旧校舎の敷地は、県埋蔵文化財包蔵地台帳に登録されている遺跡、横町館跡であることから、昨年7月から8月にかけて試掘調査を実施しました。この結果、埋蔵文化財の所在を確認するとともに、本調査を実施することになりました。

調査対象面積は全体で約5,710平方メートル、期間は平成28年度と平成29年度の2カ年を予定し、平成28年度は、主に校庭の表土を全面削平し、遺跡の密集状況を確認しながら、全面精査などの作業を実施する計画です。平成29年度事業は、前年度未了分の調査を実施する計画です。



▶ 昨年の試掘調査

ピックアップ

森林資源活用型新産業づくり計画策定事業 389万4千円

菌床きのこ類の大規模産地化を目指すとともに、豊富な森林資源を活用したオガ粉生産施設を整備し、町内外への販売や木質バイオマスの生産、廃菌床のエネルギー活用など、町独自の循環型産業体系を構築し、新たな雇用の創出も進めます。

このため、検討委員会の設置や先進地の研修を行うなど、森林資源活用による新しい西会津町の産業づくりに向けた調査・検討事業を実施します。

ピックアップ

セミナーハウス整備調査事業 432万円

合宿等でのさゆり公園利用者を受け入れる宿泊施設が限られており、町内に宿泊できない利用者は近隣町村の民宿や旅館等を利用しているため、町と友好都市を結んでいる都市の小中学生や高校・大学さらに市民などの合宿のほか、企業の各種研修会などにも対応できる合宿交流施設、セミナーハウスを整備検討することにより、都市部との交流人口の拡大と地域経済の活性化、そして新たな雇用の創出を図ります。

さらに西会津の魅力を感じてもらい将来的に西会津で暮らしたいと思った方々を増やして移住・定住につなげる施設とするため、施設の基本的な構想をまとめます。

ピックアップ

道路整備計画調査事業 216万円

町縦貫道路の町道部分は、平成30年度には完了させる予定で進めています。町縦貫道路で多額の事業費を要するのは平成29年度までで、平成30年度以降に整備を進めていく道路の整備計画を策定する必要があります。

おおむね10年間を見通した上で、交通の安全性の確保、住民生活の向上及び地域活性化のための新しい道路計画を策定します。

H28当初予算

新年度予算

議員は問う

伊藤一男議員

町職員による職員消防隊を設置することとしているが、予算措置等はどうなっているか。

町民税務課長補佐

予算は被服費に314万円程度見込んでいます。車両は公用車を使用するほか、消防組織の統廃合により不用となる車両を利用したいと考えています。

多賀剛議員

団体育成補助金はアツプされるケースはあったのか。また、要請があれば検討してもらえるのか。カットされた補助金は復活するよう検討されるのか。

総務課長

団体育成補助金を含め、補助金は28年度合計で517件、総額で8472万7千円の予算を計上している。

団体育成補助金は基本的には前年同額、もしくは上がった団体もある。

団体育成補助金は町として育成する団体や町の活性化に資する団体に補助していきたい。廃止された補助金の復活も、状況を見て団体の活動状況を踏まえ、町としての確に判断していく。

今年度は、石油等の燃料費は安くなってきたが、燃料費は総額でどのくらい安くなったか。

総務課長

ガソリン・灯油は以前より安くなり、一般会計で合計569万円の減額となった。

長谷川義雄議員

今年度は9億3862万1千円となり、今年度と比べ3177万3千円の減となった。施設管理委託料等が大部分を占める。

借地料と土地借り上げ料の見直し等が検討されているか。

総務課長

今年度の土地借上げ料は3124万3千円となり、今年度と比べ6万5千円の減となった。役場駐車場の借上げ、保育所や町営駐車場などの土地借上げ料が大きい割合を占める。今のところ借地料の減額は考えていない。

長谷川義雄議員

委託料の推移はどうなっているか。

総務課長



討論

荒海清隆議員

役場庁舎移転計画に2年間の遅れが生じた。遅れた原因の説明責任がなされていない。そして責任の所在が明らかにできないという点もある。それに加え、プールの取り壊しの件では文化財保護委員との意思疎通の欠如があった。これらは町民のみなさんに明らかにしなければならないところである。

このような隠ぺい体質は、町民にとって誠に不幸であり私も残念でならない。

大変良い、立派な新規事業もあるが、今後このようなことがないように反省することを願い、新年度一般会計予算には反対する。

賛成

討論

伊藤一男議員

まだまだ本町には、ソフト面でやらなければならないことがたくさんある。無駄なお金を使うようなことも避けていかなければならない。長期的な財政の見通し、そういう中でいろいろなことをやっている。

また、これから財政負担もいろいろある。その中で、我々議員も一生懸命考えて、この人口減少に町と共にやっていく部分はやっていく、言うところは言っていくというように、これからやっていければいいのではないかと思う。

そういうことで28年度の一般会計予算には賛成である。

平成28年度一般会計予算採決結果

三留満	薄	秦	小柴	長谷川	猪俣	伊藤	渡部	三留正	多賀	青木	荒海	清野	武藤
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—

○は賛成、×は反対、退は退席。武藤議員は議長のため採決に加わっていません。

条例改正

町3役の給料
議会議員の報酬



本町、猪苗代町、磐梯町、北塩原村で構成する会津耶麻町村会において、県内の町村の特別職の給料・報酬額について調査・検討した結果、県内他町村との格差の是正や町村長と他の特別職との割合の是正を図ることが決定されました。

町3役の給料月額を改正では、町長の給料月額を県内の人口5千人以上1万人未満の16町村の平均額の75万円に改正しました。さらに、改正した町長の給料月額を基本に、副町長の給料月額を町長の給料月額の84パーセントの額、教育長の給料月額を町長の給料月額の80パーセントの額に改正しました。

また、議会議員の報酬額も改正する議案が提出され、議長の報酬月額を町長の給料月額の40パーセントの額、副議長の報酬月額を町長の給料月額の33パーセントの額、議会議員の報酬月額を町長の給料月額の30パーセントの額に改正しました。改正前及び改正後の金額は、下記のとおりです。

また、議会議員の報酬月額を改正する「議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部改正条例」は、討論、採決を行った結果、原案のとおり可決しました。なお、各議員の採決の結果は、下段の表のとおりです。

	改正前 (旧)		改正後 (新)
町長	72万9千円	⇒	75万円 (2万1千円のアップ)
副町長	61万7千円	⇒	63万円 (1万3千円のアップ)
教育長	58万1千円	⇒	60万円 (1万9千円のアップ)
議長	26万5,400円	⇒	30万円 (3万4,600円のアップ)
副議長	21万6,900円	⇒	24万7,500円 (3万600円のアップ)
議員	19万5千円	⇒	22万5千円 (3万円のアップ)

討論

猪俣常三議員



財政が厳しいなかではあるが、町特別職給与等審議会の答申を尊重し賛成する。
今後、議員定数の見直しに前向きに取り組み、町民の理解を得られるように努める。

討論

三留正義議員



原案そのものに異論はないが、時期尚早と考える。
現在、議会活性化特別委員会で議員定数等についても検討中であるが、結論は示されていない。
このような中での報酬の引き上げは、町民の理解は得られないと考え、反対する。

議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部改正採決結果

三留満	薄	秦	小柴	長谷川	猪俣	伊藤	渡部	三留正	多賀	青木	荒海	清野	武藤
○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	-

○は賛成、×は反対、退は退席。武藤議員は議長のため採決に加わっていません。

条例改正

子どもは町の宝より一層子育てを応援

出産祝金支給条例を一部改正

現在、町では第3子以降の出生時の保護者に対し、出生時に20万円、2歳の誕生日に10万円、小学校入学時に20万円の合計50万円を支給しています。

10万円は、町内での消費の拡大を図ることを目的に、町共通商品券で支給されます。

〔質疑〕

小柴敬議員

今回の条例改正では、平成28年度から支給要件を拡充し、第1子及び第2子の出生時にも20万円の祝金を支給することとしました。

4月上旬の出産予定日の方が、出産が早まり条例改正後の恩恵を受けられないおそれがある。施行日を本日以降で、定例会中のいずれかの日からすれば生まれた時に支給できる。柔軟な対応が

出来るのではないかと。

健康福祉課長

条例改正の施行日は4月1日としており、確かに4月上旬の出産予定が早まれば、本条例改正後の適用にはならない。

本条例改正に伴う予算は新年度予算で計上しており、本年度予算では予算が計上されていないことなどから、本年度中からの実施は不可能である。

人権擁護委員1名を推せん

6月30日で任期満了となる人権擁護委員1名について、次の方を推せんすることとしました。

長谷川成博さん（梨平）

請願陳情

1件の陳情を総務常任委員会に付託し、審査しました。

審議した陳情

（敬称略）

軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの

設置を求める陳情

陳情者 軽度外傷性脳損傷仲間の会代表 藤本久美子

〔審議結果〕継続審査

なお、12月議会定例会で継続審査としていた「公立小中学校の教職員数の充実・確保のための意見書の提出を求める陳情書」は、審議の結果、採択と決定しました。

提出した意見書

公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣

訂正とお詫び

議会だより132号9ページの多賀議員の創生総合戦略に関する一般質問に対する企画情報課長の答弁の中で、「10年ごとに計画の見直しを図り」とありますが、10年ごとに見直しを図るのは町総合計画であり、創生総合戦略は5年間の計画期間になります。誤解を招く記載でした。また、15ページの小柴議員の野沢町内雪処理に関する一般質問の見出しの答として「本年度中に策定する」となっていますが、正しくは「来年度中に策定する」でした。訂正しお詫びいたします。

一般質問 町政のここが聞きたい 議員は問う 12人が登壇

- 三留満議員（15ページ）
 - ①西会津小学校にプールの必要性について
 - ②空家対策法における「特定空家」について
- 薄幸一議員（8ページ）
 - ①安全安心な暮らしの確保に向けての町の取組について
 - ②地域おこしの推進と人材の育成について
- 小柴敬議員（13ページ）
 - ①平成28年度当初予算の特徴と重点施策について
 - ②西会津町創生総合戦略策定後の今後の計画について
 - ③安全安心な快適生活環境づくりのための町の取組みについて
- 猪俣常三議員（12ページ）
 - ①学校教育の学力向上について
 - ②「会津防災」事業について
 - ③県道奥川新郷線の整備状況について
- 伊藤一男議員（17ページ）
 - ①高齢者福祉の充実について
 - ②阿賀町との交流促進と観光誘客について
- 三留正義議員（7ページ）
 - ①野沢まちなかの整備・活性化について
 - ②これからの農業について
- 長谷川義雄議員（11ページ）
 - ①子育て支援政策について
 - ②町内の文化財について
- 渡部憲議員（16ページ）
 - ①地域連携販売力強化施設の完成について
 - ②ふるさと自慢館について
 - ③出産祝金支給事業について
- 多賀剛議員（10ページ）
 - ①まち・ひと・しごと創生総合戦略について
 - ②交流人口拡大と集客施設の利活用について
 - ③「子ども議会」と小中連携教育の評価検証について
- 青木照夫議員（9ページ）
 - ①4K・8Kテレビの対応について
 - ②福祉バス路線開設について
 - ③各種利用料金の格差是正について
- 荒海清隆議員（14ページ）
 - ①役場庁舎移転について
- 清野佐一議員（18ページ）
 - ①農業政策について
 - ②観光振興について
 - ③町政の取り組み



三留 正義 議員

野沢まちなか

問 整備はどうする

答 景観づくりを計画する

問 町の中心であり、象徴であるべき野沢まちなかは衰退しているように見受けられる。最近では多くの方から、「野沢まちなかは閑散としている」といわれる。

答 そこで、本町の顔でもある野沢まちなかを、町ではどのような街並みを目指しているのかを問う。
企画情報課長
今後も商工会の皆さんとの連携を深め、まちなか活性化に向けたご意見やご提案などをいただき

ながら、新たな施設の効果的な活用やこれまで実施してきた事業の継続、磨き上げを行い活性化につなげたい。

問 まちなかの活性化はどのようにするのか。

町長
まず町内会等の皆さんが、自らアイデアを出してプロジェクトをつくらせることが大事であると考えている。
町としては街並み景観づくりを計画して進めていく。

問 平成30年には減反政策が解除になる。それまでに特色あるコメ作りについてどのような体制・体系を目指していくのかを問う。

問 雇用・所得安定政策は

答 冬作野菜の強化を図る

今後の農業

農林振興課長

小規模な個々の農業経営から農業機械の共同利用化や集落営農の組織化・法人化、認定農業者など担い手と連携した農地の集積など経営規模の拡大により、地域農業を効率的で持続性のある農業経営体へと転換する取り組みを今まで以上に強力かつ加速度的に進めていく。

問 多くの農業者が冬期間の収入に苦慮されているが、雇用や所得安定化に向けた政策をどのよ

うにされるのかを問う。

農林振興課長

平成16年度より耐雪型パイプハウスのリース事業を導入し、農家支援を行ってきた。

今年は、道の駅よりつせの地域連携販売力強化施設がオープンすることから、取り組み農家数の拡大と多品目野菜の推進、雪下野菜や越冬野菜などの栽培を推進し、冬作の取り組み強化を図っているところであり、冬期間の農業所得の向上につなげていきたい。



取り組みの拡大が期待される冬作野菜



議員 幸一 薄

問 雪処理支援隊の状況は

答 臨時職員4人を雇用

問 高齢化率が42パーセントを超え、冬期間の除雪が困難な世帯に対して、今年度設置した雪処理支援隊が活躍された状況を問う。

健康福祉課長

現在、町臨時職員として4人の支援隊員を雇用している。雪処理支援隊の支援は、安否の確認、玄関から道路までの除排雪、機械除雪後の残雪処理を行っている。豪雪時には軒先の残雪処理や避難経路の確保もすることとしている。

問 除雪作業にあたり、安全管理、作業時間、除雪の範囲などの規則は、どのようなになっているか。

健康福祉課長

安全管理は、毎朝作業前に当日の作業内容を確

認し、安全運転、作業中のヘルメットの着用、作業中の安全確認の徹底をしながら作業をしている。作業時間は、毎週月・水・金曜日の3日間、午前8時30分から午後5時15分まで活動しているが、降雪の状況や野沢町内の流雪溝の流水時間などにより、曜日や時間は臨機応変な対応をしている。今年度の実施状況を検証し、より良い制度になるように改善しながら継続していく。

問 西会津国際芸術村に移住相談などの拠点としての機能を加えるところだが、今現在、移住の希望があれば受け入れ体制は整っているか。

商工観光課長

従来までの行政の支援に加え、町外からの若者の移住、定住者の確保を図るため、都市部等への町の情報発信から仕事や住宅の紹介などをワンストップで行うため、定住移住総合支援センターを芸術村に設置し、体制の強化を図っている。

問 移住された方に、町として新しいサポート体制をどのように考えているか。

商工観光課長

住宅購入者への最大190万円の補助が受けら

国際芸術村

問 海外芸術家の招へいは

答 再開する考えはない

問 以前のよう、国際芸術村に海外からの芸術家を受け入れる考えは、大使館を通じた招致を再開する考えはないが、国内外を問わず芸術活動で芸術村を訪れ、滞在する形態を継続していく。

商工観光課長

問 以前のよう、国際芸術村に海外からの芸術家を受け入れる考えは、大使館を通じた招致を再開する考えはないが、国内外を問わず芸術活動で芸術村を訪れ、滞在する形態を継続していく。



国際芸術村のさらなる活用を



青木 照夫 議員

循環福祉バス

問 運行させる考えは

答 制度上でできない

問 眼科や透析等で、町外の医療機関に行かざるを得ない方がいる。野沢駅から坂下厚生病院、竹田病院、中央病院、会津医療センターというように、各病院を循環する福祉バスを運行させてはどうか。

答 一人は利用が困難である。町が各病院と話し合い、循環福祉バスを運行することはできないか。

町民税務課長補佐
3月1日から高速バスに、竹田病院前停留所が新設され、直接竹田病院へのアクセスが可能となった。また、現在運行している町民バス野沢坂下線は、4月1日より坂下厚生病院敷地内に停留所を移設することで、利用者の利便性の向上を図る。

町が直営で循環福祉バスを運行させることは、すでに会津管内を運行している公共交通機関があることから、制度上でできない。

さらに各病院が運行している送迎バスは、病院が企業努力で独自に利用者へのサービス向上のため実施しているものであり、町が中心となって運行ルート进行调整することはできない。

問 町の憲法のまちづくり基本条例で規定する町民の定義は、居住するもの、町内で働くもの、学ぶもの、事業を営むもの、活動するものとなっております。居住するも住民

問 格差を是正すべき

答 適正化に努める

利用料金

登録をしなければならぬという定義はない。数十年前の居住者であっても、デマンドバス等の料金が町外者料金である。やさしいまちづくり、交流人口拡大を目指すなら是正すべきではないか。

総務課長

利用料の算定は、受益者負担の原則に基づきながら、負担の公平性やサービスの性質、類似施設の状態などを考慮し、設定している。負担の公平性や算定方法の明確化

を基本に据え、必要に応じて見直しを検討するなど、今後も適正化に努める。

なお、まちづくり基本条例に規定される住民もしくは町民の定義は、条例中のまちづくりにおける町民等の権利や役割の範囲を明確にするためのものであり、一方、使用料等の設定は、今ほど申し上げた考え方を基本的に、それぞれのサービスに応じ判断すべきものと考え



料金負担の公平さを



多賀 剛 議員

地方創生

問 取り組む覚悟は

答 総合戦略と整合性を計りながら

問 新年度は「地方創生」に向け、具体的な取り組みが活発化するものと考えている。人口減少対策等、一朝一夕には成果を上げることは大変難しい課題ばかりであるが、残された時間もそう長くはないのも事実である。他町村との差別化をし、本町の優位性を最大限生かしながら、生き残りをかけた施策を実行する上で何が重要と考えるか。取り組み姿勢、意気込みと覚悟を問う。

地方版総合戦略の目玉は何か。

企画情報課長

平成28年度に実施する事業は、木質バイオマス生産施設の整備に向けた検討。定住・移住総合支援センターの設置。セミナーハウスの整備に向け

た調査の実施。地域おこし協力隊増員や西会津高校生による商品開発事業、若者リーダー養成事業等である。

問 他町村にはない本町オリジナルの施策はあるか。

町長

年間3千人を超える来館者がある西会津国際芸術村の施設改修工事を実施し、アートによる町づくりの拠点施設として、交流人口の拡大を図っていく。

問 過日初めて開催された小学生による子ども議会では、子ども議員の豊かな感性と素直な視点から発せられる思いや鋭い意見に、感心、感動させられた。相手の話をしっかりと聞き、自分の思いや意見をしっかりと伝えることは、ある意味「生きる力」を育てる上で一番大切な部分であるように思う。子ども議会の効果をどのように考えるか。

教育長

子ども議会では児童の堂々とした態度、しっかりととした主張は素晴らしいものがあった。子どもたちは、機会が与えられれば自ら考え行動できること、成長に必要な活動の場を設けてやることなどの重要性を再認識できた。

小中連携一貫

問 教職員の多忙感への対処は

答 悪い環境にはない

問 小中連携教育の評価及び検証は。また、教職員の多忙感にどう対処するのか。

教育長

昨年12月にまとめた報告書では、共同授業研究をとおした授業の質の向上が図られるなどの成果があった一方で、小中学校の教職員間で小中連携の意識に温度差がみられ

た。今後とも小中学校の話し合いの場や教職員の交流を進め、その溝を埋めていくことが大切であると考えている。

教職員の多忙感は、県教育委員会等での調査で、ストレス度や社会的健康度等も県平均より良好な結果が得られており、決して悪い環境にはないと認識している。



堂々と質問する子ども議員

子育て支援

問 待機児童の解消は

答 現在待機児童はいない

問 認定こども園は平成29年4月に開園されるが、児童の安全対策は万全か。

健康福祉課長

防災・防火に配慮した施設、全ての子どもにやさしいユニバーサルデザインによる施設、送迎時の交通安全に配慮した施設という基本方針に沿ったものを設計し進めている。

問 開園すれば待機児童は解消されるか。

健康福祉課長

新しい認定子ども園の定員は、2〜5歳児がそれぞれ40人、1歳児は25人、ゼロ歳児が15人と今後入所希望児童数が増加しても入所できる規模となっている。

なお、現在本町では待機児童はいない。

問 乳幼児家庭子育て応援金は継続するのか。

健康福祉課長

乳幼児家庭子育て応援金事業は継続していく。



長谷川 義雄 議員

町内の文化財

問 維持管理に支援を

答 事案に応じ支援を協議

問 文化財は、個人または団体が維持管理しているが、支援等をする考えはないか。

生涯学習課長

町では文化財保存事業補助金交付要綱を制定しており、今後、文化財の所有者から問い合わせ等があった場合は相談させていただき、事案に応じた支援策を協議していきたい。

問 横町館跡発掘調査事業も4月より実施予定だが、発掘による出土品の利活用はどのように考えているか。

生涯学習課長

横町館跡の発掘調査が進行し、出土品が発見された場合、専門家や関係機関と協議しながら、現在、策定作業を進めている歴史文化財を生かした地域づくりに活用していきたい。



文化財は貴重な町の宝です



猪俣 常三 議員

学力向上

問 具体的な方策は

答 学びなおす活動で

問 本町の小中学校の学力調査の結果は、どのように分析しているか。

学校教育課長

小学5年生は、理科の知識分野の正答率は県平均を上回ったが、他の教科は県平均を下回った。

中学2年生は、数学・理科・英語・国語の知識は県平均を上回っており、国語の活用だけがわずかに下回る結果となった。

各教科の正答率を領域別に見ると、小学校の国語では「話すこと・聞くこと」が、算数では「量と測定」「数量関係」が、理科では「生命・地球」が県平均を下回っていることがわかった。中学生は、ほぼ全域で県平均を上回っていることがわかった。

問 学力向上のための具体的な方策は。

学校教育課長

一時間の授業の充実を図る「授業の流れのスタンダード」の徹底、今回の学力テストで明らかになった定着していない内容は、教育支援員を活用し「学びなおす活動」を学校全体で取り組んでいる。

また、学習を定着させるべく、課題の出し方の工夫と、その確実な確認を行っている。

問 学習効果を確認するために、どのような方法を用いているのか。

学校教育課長

全国学力・学習状況調査、福島県学力調査及びNRTとよばれる標準学力検査を実施しており、また、学校では単元テストや定期テストなどを実施し、学習成果の到達度確認を行っている。

県道奥川新郷線

問 整備計画の進捗状況は

答 28年度は引き続き調査

問 県から中町工区の整備の見通しが立っていないと説明を受けてから、1年が経過しようとしているが、整備計画の進捗状況を問う。

建設水道課長

喜多方建設事務所に確認したところ、平成27年度は地質調査を実施しており、28年度は引き続き調査を進めていくとのことである。

問 中町峠付近は、路面が盛り上がり、通行に支障をきたしている。町は県に対して、どのように要望していくのか。

建設水道課長

喜多方建設事務所では、直ちに注意看板を設置するとともに、3度にわたる舗装補修を実施している。引き続き監視を続ける。



大きく路面が盛り上がり交通に支障があった中町峠

ているが、町としても県と連携を密にしながら、大きな変動等があれば直

ちに補修していただくよう要請していく。

新年度予算

問 総合戦略関連の予算は

答 14億6千万円を計上

問 平成28年度一般会計当初予算は、総額約64億円という大型予算が計上されたが、まち・ひと・しごと創生総合戦略の予算は、どの程度計上されているのか。

特に町独自の重点施策はどのような項目か。

町長 重点施策として、木質バイオマス生産施設整備に向けた計画策定に取り組む。

町長 平成28年度を地方創生初年度と位置付け、人口減少対策や地方創生事業に取り組むため、総合戦略関連として14億6千万の予算を計上した。

問 今回の予算の中で、

住・定住の促進では、さゆり公園施設利用者などが合宿・研修のできるセミナーハウス整備の調査事業や、西会津国際芸術村の施設改修を行うとともに、移住・定住総合支援センターを併設するほ

か、地域おこし協力隊の増員等により、若者の育成定住を図る。

子育て支援では、平成29年4月の開園に向けて認定子ども園の整備を進めるとともに、出産祝金を第1子、第2子目出生時に20万円支給するよう制度を拡充した。

問 最小の予算で、最大の効果が期待できる項目はあるのか。

町長 行政執行にあたっての基本的姿勢として、最小の予算で最大の効果が挙がるように各種事業に取り組んできた。

今後も事務事業の見直しや国県補助の活用など、最小の経費で最大の効果が挙がるように事業の推進を図っていく。

問 創生総合戦略策定後の今後の計画を問う。キノコ大規模産地化推進のため、実施計画への新たな位置付けについて、計画の見直し（新たな追加）を含めた町の考えは。

農林振興課長

町内の豊かな森林資源の有効活用と菌床キノコ類の大規模産地化を目指す森林資源活用新産業づくり計画の策定を進める。

問 木質バイオマス生産施設の整備については、平成27年2月に木質エネルギー地産地消計画がすでに策定されているが、この計画書の位置付けはどのように考えるのか。

農林振興課長

木質エネルギー地産地消計画は、町有施設等の

木質燃料ボイラー導入検討を目的とした計画で、今後、町独自の循環型産業の構築を目指す。

問 創生総合戦略実行のため、予算確保を含めた町長の取り組みと方針は。

町長

まだ新型交付金の具体的内容が示されていないが、今後も国県補助金や有利な起債の活用に向けて、国や県に強力に要望していく。

問 町長の取り組みは

答 国や県に強力に要望

創生総合戦略



キノコ大規模産地化と木質バイオマス生産施設を

小柴 敬 議員



荒海 清隆 議員

問 計画の見直しは

答 早期移転に向け作業を進める

役場庁舎移転

問 これまでの経緯と経費は。

総務課長

当初、平成27年度と28年度の2カ年で整備を図る予定であったが、昨年4月に旧西会津小学校の敷地内が埋蔵文化財包蔵地台帳に登録されていることが判明し、庁舎移転を計画どおり進めるには遺跡の本調査が必要となり、移転時期が予定よりも遅れることとなった。

問 埋蔵文化財との関係はクリアできたのか。

総務課長

県教育庁文化財課や役

場関係課、発掘調査の専門家、設計業者等と現地確認や協議を重ね、発掘調査は平成28年度と29年度の2カ年で実施する。改修工事は、平成29年度から着手し、平成30年度の早い時期の完了を予定している。

問 分庁舎を建てなければならぬなど、多くの課題があると思うが。

総務課長

新庁舎となる旧小学校施設には、スペース的に教育委員会は入らない。教育委員会が入れるスペースを確保するために分庁舎を2階建てから3階建てに変更すれば1億円以上の経費が増えることとなる。また、町総合計画の後期計画の中で生涯学習機能と文化活動施設の整備を検討していることなどから、新庁舎に全ての課を配置する考えはない。

問 大きな変更等があった場合、事業そのものの見直しを考えてはどうか。

総務課長

役場庁舎移転事業については基本コンセプトの下、役場庁舎内における協議や議会への説明、パブリックコメントの実施、町民懇談会の開催などを経て計画した。

また、現在の役場庁舎は老朽化が著しく、早期の移転が必要であることや、今後、本町の活性化、さらには町民生活の向上を図るためのまち・ひと・しごと創生総合戦略事業や防災行政無線のデジタル化事業、道路整備事業などの実施に多額の財源が必要となることなどを踏まえ、現計画の見直しはせず、早期移転に向けた作業を鋭意進めていきたい。



今年から本調査が実施される横町館跡（旧西会津小敷地）



三留 満 議員

小学校プール

問 設置する考えは

答 再検討する

問 西会津小学校の新校舎の課題にプールの問題がある。

特に夏休みのプールは、多くの保護者から意見や要望があり、子ども議会でも質問があった。

さゆり公園プールを利用した授業は、計画どおりにできたのか。

学校教育課長

1学年は屋外幼児用プールのため、雨や低温で計画どおりの授業時間の確保はできなかったが、目的はほぼ達成できた。

2学年から6学年までは、計画どおり実施できた。

問 昨年の夏休みの

プール利用は週1回だけで、これまでより大幅に減ってしまった。課題が残った。今後の対応は。

学校教育課長

今年の夏休みは、日数増や安全確保の方法等、関係者と協議を進め、できるだけ児童や保護者の要望に沿えるよう努力する。

問 小中一貫教育の方針のもとで、小学校と中学校の両方で使えるプールの設置はできないか。

学校教育課長

さゆり公園プールを使

用した結果、様々な課題が浮上したことから、プールの設置を再度検討する場を設けたい。



さゆり公園プールを利用した授業に課題は多い

空家対策

問 危険な空家の対策は

答 適正管理に努める

問 町内には、廃墟と化した危険な空家が見受けられるが、今後の対策を問う。

危険な空家の件数は把握しているか。調査の予定は。

町民税務課長補佐

法に定める「特定空家等」の適用には、順を経

た手続きが必要なことから、件数の把握はしていない。

今後の調査は、空家データをもとに、建築の専門家の意見を参考に危険度判定を行う。

問 町空家条例の補助金を利用して、解体処分した例はあるか。今後の計画は。

町民税務課長補佐

これまで補助金を利用して解体処分した例はないが、所有者が経済的な理由で取り壊すことが困難な場合、補助金を使って解体することもできる。

問 木質バイオマス計画の中で、解体で発生する木材等をエネルギー資源として活用し、処分費用の低減を図ることはできないか。

町民税務課長補佐

空家の解体により発生した材料の処分は、産業廃棄物として処分することになっており、バイオマス計画でのチップ化の利用は、法律では認められていない。



渡部 憲 議員

ふるさと自慢館

問 税金の免除はどうか

答 場合によっては課税対象

問 ふるさと自慢館の管理運営は、どのようになるのか。

商工観光課長

ふるさと自慢館は、町商工会が所有し、町の歴史や観光名所などを紹介することを目的として、管理運営されている。

問 テナントに入る業者との委託契約は。

商工観光課長

商工会ではテナント方式を採用し、管理運営していくと聞いているが、契約内容までは把握していない。

問 自慢館に対する税金の免除はどうか。

副町長

今までの自慢館は、収入がなかったため、課税対象とならなかった。今後、収入が発生するようであれば、課税対象になる。

出産祝金

問 なぜ半額は商品券なのか

答 町内の消費の拡大を目的に

問 出生時に支給する出産祝金20万円のうち、半額の10万円は町の共通商品券で支給するとしているが、なぜ現金で支給しないのか。

出生時は多額のお金が必要となり家族の負担も大きい。現金の方が家族は助かると思うが、町の対応は。

町長

人口減少に歯止めをかけるため、子育て支援を充実させることは、重要な施策となってきた。現在第3子以降の出産に対して、総額で50万円を支給している出産祝金を第1子目、第2子目の出産時にも20万円支給するようにする。

出生時に支給する20万円は、半分の10万円を町共通商品券で支給するこ

とで、町内での消費の拡大を図ることも目的としたものである。



出産祝金の拡充で子育てを応援

高齢者福祉

問 認知症専門棟20床の増設は

答 情勢の変化を踏まえながら

問 町では第6期介護

保険事業計画・第7期高齢者福祉計画を策定したところだが、その取り組みを問う。

計画の中で、認知症の人への対応を強化するため、介護老人保健施設「憩の森」に認知症専門棟20床の整備計画だが、進捗状況は。

健康福祉課長

認知症専門棟20床の整備計画は、計画策定時、待機者の解消と認知症対策の強化を目的に計画し

た。

しかし本年度、会津地域に入所定員の多い介護施設が開設し、待機者が7人となった。その7人も居宅介護サービスを利用しながら、自宅介護が可能となっている。

これらの情勢の変化を踏まえ、総合的に判断したい。

問 高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加する中、自宅や地域で安心して住み続けるた

健康福祉課長

めに、生活支援のニーズが高まっている。生活支援ハウスの有効活用と高齢者向け共同住宅などの整備を進めているが、進捗状況は。

今後、生活支援ハウスや共同住宅へのニーズは増えることが予想されるので、遊休公共施設や空家等を高齢者向け共同住宅として活用できないかなど、早急に検討する。



伊藤 一男 議員

観光振興

問 阿賀町との交流は

答 経済交流も図れるように

問 町では従来の観光に加え、歴史的・文化的に価値の高い旧越後街道を活用した観光振興を図っていることから、次の点を問う。
江戸時代と同じ会津藩

であった阿賀町と、旧越後街道を共通テーマとした連携を推進し、滞在型の観光振興を図る考えは。

商工観光課長

昨年11月に、阿賀町、会津坂下町、本町の3町連携による宿場町をテーマにしたサミットを開催し、町内外から150人の参加があった。

28年度は阿賀町を会場に予定しており、今後の周遊観光促進に連携の必要性を確認している。

問 町の各種イベントで阿賀町との交流を促進し、地域の活性化につながる考えはないか。

商工観光課長

現在、阿賀町とは交流や連携を行っている事業は数多くある。今後は、滞在型周遊ルートの構築や交流人口の拡大による経済交流も図れるよう取り組んでいきたい。



昨年開催された越後（会津）街道サミット



清野 佐一 議員

農業政策

問 ライスセンターの建設は

答 施設建設を検討していく

問 本町の基幹産業は農業であり、水稲が主要な作物になっている。しかし、近年高齢化により担い手不足が進み、作付けされない水田も見受けられる。ライスセンターの建設も含め、振興策について問う。

農林振興課長

今後全町の地に農地プランの作成と担い手の明確化による認定農業者への誘導を進めるとともに、水田農業については、経営規模の拡大と集落営農組織の推進、さらには法人化支援を行っていく。

町長

今後、野沢・尾野本の一体感のあるカントリエレベーター等の設置を検討する。

問 用水路等の保全、改修も必要と思うが、その対策を問う。

農林振興課長

町内の多くの農業施設は、昭和50年代に、ほ場整備事業で整備されたもので、事業が完了してからすでに30から40年経過しており、施設の老朽化も進んでいるのが現状である。

規模の大きな施設改修は、施設の管理者である町土地改良区に主体となっていたいただき、補助事業等の活用を検討しながら対応していく。

問 町政の取り組みで次の点を問う。

ふるさと納税への取り組みは、予算額が500万円と、あまりにも消極的な姿勢と受け取れるが、基本的な考えを問う。

町民税務課長補佐

現在までのふるさと応援給付金（ふるさと納税）の実績を考えあわせて、当初予算編成にあたり平成27年度2月末実績の約5倍の予算とした。

問 西会津小学校の施設等について、プール建設も含め整備計画があれば、具体的な内容を問う。

町長

西会津小学校のプールは、町小学校統合推進委員会、小学校にはプールは設置せず、さゆりプールを使用するという

町政の取り組み

問 ふるさと納税が消極的では

答 27年度実績の5倍の予算で

基本方針が決定されたことから、これに基づき進めてきたところである。しかし、実際にさゆり公園プールを使用した結果、様々な課題が浮上し

てきたことから、再度、小学校プールに関して、今年の夏以降に町民の皆さんに検討いただく場を設け、早い段階で答えを出したい。



ふるさと納税で財源の確保を

町民のみなさん

お話ししましょう

報告会要望事項

町に申し入れた結果は

新庁舎移転時期や横町館跡など、町が行う事業等の情報が遅いため、事業実施に対して町民の理解を得るためにも、町民への迅速な情報提供を要望する。

町の回答
町が行う事業は、適時、適切な内容で情報提供に努める。横町館跡の試掘調査の結果は、町広報紙に特集を組み、町民の皆さんにお知らせしたところである。

高齢化等により、町道や林道の草刈等の維持管理が困難になっている。将来を見極めた対応策と良好な維持管理を求めめる。

町の回答
今後は、さらに進行する高齢化を踏まえながら、路線利用度や防災上などを勘案した上で、日常的に生活機能を維持する路線を優先しながら維持管理していく。

旧新郷保育所園庭の駐車場化と同保育施設の利用も含め検討・整備を要望する。

町の回答
園庭は駐車場として活用いただけように対応を図る。旧新郷保育所施設の利活用は、遊休施設全体の利活用方針の中で検討していく。

県道奥川新郷線の一部は改良されているが、原地内など改良が必要な区間がある。喜多方建設事務所にも改良の要望をしている箇所でもあるが、地域住民の生活道路であり、安全確保のためにも県と協議し改良区間として計画に入れるよう要望する。

町の回答
喜多方建設事務所に、点検・修繕をお願いするとともに、全体の整備計画が促進されるよう要望する。

市町村対抗福島縦断駅伝競走大会や市町村対抗福島軟式野球大会等の成績が伸び悩んでいることから、スポーツの振興と町民の健康づくり推進のため、指導強化及び年間を通した取り組み等、総合的な計画と支援強化を図りたい。

町の回答
市町村対抗の大会出場は、実行委員会等の関係者と連携を深め、年間事業計画を樹立し、上位入賞を目指し積極的に取り組む。

猿が人家近くに出没し農作物等への被害が後を絶たない状況であることから、町直営による見回り強化や捕獲時の報奨金のアップ、地域住民による防衛策の指導を含めた対応強化を要望する。

町の回答
町直営のパトロール隊や実施隊に連絡し現場の対応をしている。連絡体制を密にし、捕獲作業を強化する。集落環境点検の未実施地区には、事業の説明を実施していく。

野沢中央線及び県道大久保野沢停車場線の白線が薄れているので整備対応してほしい。

町の回答
平成28年度に、県道野沢大久保線のマイロード区間を舗装補修と白線引き直しをすることとなった。野沢中央線と通学路である野沢森野線も平成28年度に白線引き直しを実施する。

さゆり公園利用者には自転車を利用して児童生徒も多くいる。さゆり公園内の各所に自転車駐輪されている状況も踏まえ、駐車スペースの指定等も含め、駐輪場の設置を検討してほしい。

町の回答
施設別に自転車での公園への来場状況を調査し、公園内の駐輪の場所や規模について検討する。

ふれあい広場のトイレ改修の計画がないので、洋式トイレとして改修してほしい。

町の回答
利用者の利便性を考慮し早急に検討する。

平成27年度一般会計補正予算では、国の補正予算事業の地方創生加速化交付金事業の採択に伴い、会津地域の7市町村共同による、会津地域全体の観光を一本化で管理する着地型観光の組織をつくり、外国人観光客の誘致を図る事業の経費1556万円の追加などにより、1億3388万7千円を増額しました。

第2回議会臨時会

地方創生加速化交付金事業
1556万円を追加など

3月25日、第2回議会臨時会を開会しました。

町から提出された議案は、平成27年度一般会計補正予算(第8次)と平成28年度一般会計補正予算(第1次)の2件で、両議案とも全員賛成で原案のとおり可決しました。

平成27年度一般会計補正予算では、国の補正予算事業の地方創生加速化交付金事業の採択に伴い、会津地域の7市町村共同による、会津地域全体の観光を一本化で管理する着地型観光の組織をつくり、外国人観光客の誘致を図る事業の経費1556万円の追加などにより、1億3388万7千円を増額しました。

また、平成28年度一般会計補正予算では、3月16日にご逝去された、前西会津町長山口博禎氏の町と山口家の合同告別式経費にかかる、町負担分の経費396万1千円を追加計上しました。

また、平成28年度一般会計補正予算では、3月16日にご逝去された、前西会津町長山口博禎氏の町と山口家の合同告別式経費にかかる、町負担分の経費396万1千円を追加計上しました。

このコーナーでは、各方面で活躍されている町民の方々をインタビューを通して紹介します。

今回は、本町で初めて男性による銭太鼓の団体である「上野尻男銭太鼓」のリーダーとして活躍している齋藤修さん（上野尻）です。



「銭太鼓の輪を男性にも」と語る齋藤さん

プロフィール

住所：上野尻2組（群岡）
年齢：67歳
家族構成：妻、子、孫
趣味：カラオケ

男性の銭太鼓に取り組まれたきっかけを教えてください。

65歳になって老人クラブに入り、総会に参加した際に女性の銭太鼓を見て、男性でもできるだろうと思いついたところ、思いのほか集まったことがはじまりです。

一番苦労されたことは、女性部の方にご理解と協力を得て始めました。立ち上げ当初は動きがばらつきがあり、これが

思いのほか、なかなか統一感のある演奏にまとまらなくて、みんな本当に必死で練習に練習を重ねました。その時期が一番大変でした。

これからの目標や抱負などはありますか。

いま演奏（メインの伴奏）に、その場で歌詞を歌っての銭太鼓演奏にも取り組みを始めたので、もっと研究していきたいと思っています。

それから、我々の上野尻男銭太鼓から本町の各

地区等に普及していったり、将来いろんな形で交流したいと思っています。

町議会や町に望むことは。

まずは、若者の定住に向けた施策について、町も議会議員団も一生懸命力を尽くしてほしいと思います。

ご協力ありがとうございました。今後のご活躍を期待しています。

議会の動き

通年会期制を学ぶ

議会運営委員会では、2月8日から10日までの日程で、視察研修を実施しました。

最初に、全国町村議会議長会で、地方議会のあり方や目的を学びました。

また、議会活性化のため、通年会期制を各地方

議会で採用する動きが多いことから、通年会期制

を実施している長野県小布施町議会と信濃町議会

を視察研修しました。

通年会期は、町長が年1回議会を招集し、議会の議決でその会期を1年間と定めることにより、

以後、議長の権限で再開と休会を繰り返すことになり

ます。

通年会期のメリットは、議会の閉会中を休会中と

すること、議会が主体的に活動できるようになるため、災害や行政課題への緊急的な議会の対応が可能になり、専決処分が減少します。

一方デメリットは、執行機関の議会拘束時間の増加、審議に伴う経費への対応や議員活動の増加に対する報酬等の見直し等、行政側の一層の理解が重要となります。

本町議会でも、活性化特別委員会の検討事項でもあり、大変参考となる視察研修でした。



編集後記

新年度を迎え、真新しい制服に身を包み、学校、職場へと新たな気持ちで夢や希望を持ってスタートできる季節となりました。

東日本大震災から5年の月日が経ち、未だ仮設住宅での不自由な生活を余儀なくされている方も多く、風評被害の払拭も

進まない現在、復興の歩みを加速させていただきたく願います。今年は暖冬で稀に見る雪の少なさで、生活するにはありがたかったですが、雪が少な

いため、農作物に水不足の影響が心配されます。広報紙の編集は、今まで以上に読みやすく、理解しやすく、親しみやすい広報紙を目指していきます。

（薄 幸一）

にしあいづ議会だより

No. 133

発行 福島県西会津町議会
編集 議会広報特別委員会

〒969-1449 福島県耶麻郡西会津町野沢
字下小屋上乙3261 電話 0241(45)4537
e-mail gikai@town.nishiaizu.fukushima.jp

編集委員 委員長 三留正義
副委員長 三留 満
委員 薄 幸一
委員 秦 貞継
委員 青木照夫